

令和7年度

新入生オリエンテーション資料

生徒会スローガン
生徒（きみ）の笑顔が真志喜の太陽



⇒こちらからも資料が見れます

令和7年1月31日（金）

宜野湾市立真志喜中学校

宜野湾市真志喜3-19-1 Tel 098-897-3651・2841

FAX 098-897-3654

目 次

1	令和7年度学校経営方針	1-6
2	真志喜中学校での学校生活に向けて	7-8
3	日課表	9
4	生徒心得について	10-14
5	制服の採寸と注文について	15-16
6	部活動について	17-18
7	新入生の健康について	19-20
8	進路志願状況について	21-22
9	高校入試制度（特色選抜）について	23
10	特別支援教育について	24
11	令和7年度の主な行事	25
12	令和7年度入学式のご案内	26
13	学習用具の準備について	27
14	教材の販売について	28

令和7年度 真志喜中学校 学校経営方針

1 学校経営の理念

将来の変化を予測することが困難な時代を迎える中、これからの学校経営については、著しく変化化する社会の情勢の中で子どもたちの成長にどのような役割として機能し、使命を果たすべきかを考え、創造し続けることが重要である。よって、これからの学校経営に求められるのは、カリキュラムマネジメントの理念に基づく日々の学校経営・運営・学校組織の創造と実践、そして評価の営みであると考え。今後、子どもたちがどのような時代の変化に直面したとしても、このカリキュラムマネジメントの理念に基づく経営を柔軟且つ創造力を生かしながら取り組むことで、学校や子ども達はどのような状況においても持続可能でその時代に合った生きる力を模索し続け、未来社会に求められる資質・能力を培うことができるものと考え。

そこで本校では、どのような社会変化や社会環境の中にあっても「生徒が自ら課題を発見し、考え、主体的に判断して行動し、よりよく問題解決する力」が身に付くよう、学校として育成すべき資質・能力を「自律」「共創」「協働」の3つに集約した。この3つの資質・能力については、学校教育目標の具現化に向けた取組を明確にするものである。また、子どもたちが住む地域や社会にも意識を傾け、責任を持つことができること（エージェンシー）を期待するものである。

学校目標や育成すべき資質・能力（「自律」「共創」「協働」）の基盤として重点をおくのが、「豊かな心」の育成である。「他者を思いやる心」「生命や人権を尊重する心」「正義感や公正さを重んじる心」等の「人間尊重」と「相互信頼」をまずはしっかり経営の基軸として位置づけ、学校経営の更なる改善・充実に努めていく。

2 本校教育の基礎

本校教育は、人間尊重・相互信頼の上に立ち、生徒の人格の完成、平和で民主的な国家及び社会の形成者の育成、教育の機会均等の実現を目指す。

3 本校の教育目標と資質・能力

〈教育目標〉

「豊かな心で自ら学び、たくましく国際社会を生きる生徒の育成」
～心を鍛える・頭を鍛える・体を鍛える～

4 教育目標の具現化に向けた3つの「資質・能力」

- (1) 生きて働く「知識・技能」の習得と計画的な行動実践(自律)
- (2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成(共創)
- (3) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性の涵養」(協働)

〈資質・能力の具体〉

「自律」: 目標に向け、自ら情報収集と選択と判断を行い、計画的に実行する。

「共創」: 協働的活動に積極的に取り組み、多様な意見や価値観から新たな学びを創造する。

「協働」: 多様な他者を尊重し、協働しながら持続可能な社会の創り手となる(ウェルビーイング)。

5 目指す学校像・生徒像・教師像

教育目標の具現化を図るため、目指す学校像・生徒像・教師像を設定し、教育活動に取り組む。

〈目指す学校像〉

- (1) 生徒にとって楽しく居心地がよく、充実感や自己の存在感を実感できる学校
- (2) 生徒一人一人が個性や能力を発揮し、自己有用感を实感できる学校
- (3) 生徒間や教職員間、また、生徒と教職員との心が融和する学校(心理的安全性)
- (4) 花が咲き、緑があり、心が和む清潔できれいな学校
- (5) 保護者、地域が喜んで学校行事等に参加・協力したいと思える学校

<目指す生徒像>

- (1)相手の気持ちを理解し、相手の立場になって行動できる、思いやりのある生徒
- (2)自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力を身につける生徒
- (3)自ら課題を見つけ、主体的に判断し、計画的によりよく問題を解決する生徒
- (4)基本的な生活習慣を身につけ、規律正しい生活を送ることができる生徒
- (5)心身の健康の大切さを自覚し、健康で安全な生活を送ることができる生徒

<目指す教師像>

- (1)生徒理解に努め、生徒個々の良さを見つけ・認め・伸ばす教師
- (2)教育への情熱や使命感をもち、生徒に寄り添い、共に伸びる教師
- (3)絶えず研修に努め、資質向上に努める教師
- (4)服務規律を厳守し、教育公務員としての使命感、責任感のある教師
- (5)生徒に慕われ、保護者・地域から信頼される教師

6 学校経営方針

- (1) 学校教育目標の具現化を目指し、教職員が個々の得意分野を生かし、学校経営に積極的に参画する。【全校体制による学校の特色を活かしたカリキュラムマネジメント】
- (2) 各主任等を中心に機能的な組織運営を行い、学校教育活動の充実を図る。【組織マネジメント】
- (3) 生徒及び保護者による学校評価や教職員自己評価、諸調査等を通して学校課題とその対応策を明確にし、マネジメントサイクルに基づく学校経営の充実に努める。【社会に開かれた教育課程】
- (4) 真志喜中校区の幼小中連携実践項目の実働化と評価・改善

7 学校経営の重点

(1) 「豊かな心」と「望ましいマナーや習慣」の育成

- ① 学校教育活動全体を通して、生徒一人一人の頑張りや優しさに気づき、多面的に勇気づけ、自己肯定感や自己有用感を育成する。
- ② 主体的・対話的な学びの基礎となる支持的風土に満ちた学級・学年経営の充実に努める。
- ③ 道徳教育の要として、心に響く道徳（「特別の教科道徳」）の時間の指導を充実させる。また、学校教育活動全体を通して道徳教育やキャリア教育の充実を図るとともに、礼儀やマナーを身につけさせ、規範意識を高め、「時を守り 場を清め 礼を正す」生徒を育てる。

(2) 「確かな学力」（「自己肯定感」・「自己有用感」）の育成

- ①各教科において、学習規律を徹底し、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる。
- ②「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、生徒一人一人が「学び」を楽しみ・高める「わかる授業」の構築に努める。〔学習意欲・言語活動の充実⇒思考力・判断力・表現力等〕

(3) 「健やかな体の育成」

生徒が自ら課題を見つけ目標を設定し、自発的・自主的な活動を通して運動やスポーツが好きになり、積極的に運動に親しむ資質や能力を育成する学習指導の工夫・改善を図る。また、運動部活動の活性化や適正化並びに体力の向上を図る取り組みを推進する。

(4) 特別支援教育の充実

特別支援教育に関する校内支援委員会及び特別支援教育コーディネーターによる支援体制を整備し、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮を基に、教職員が一体となった組織的な取り組みを推進する。

8 本校指導の努力点

- (1) 支持的風土に満ちた学級・学年経営（認め合う・支え合う・助け合う）
- (2) 生徒の「自立」を促す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- (3) 個に寄り添い・関係機関と連携した不登校対策・生徒指導、教育相談の充実
- (4) 合理的配慮による特別支援教育の充実
- (5) 生徒がよりよく育つ魅力ある生徒会・宇別地域生徒会及び部活動

9 取組事項

(1) 「豊かな心」と「望ましいマナーや習慣」の育成

- ①各教科及び学級・学年において、「生徒一人一人の頑張りや優しさに気づき、多面的に勇気づける」ことによって生徒の自己肯定感や自己有用感を育む。
- ②教育活動全体を通して、優しさや思いやりの心を育成し、支持的風土に満ちた学級・学年経営の工夫を行う。
- ③「特別な教科道徳」では、「考え、議論する道徳」への質的転換に向けて授業改善の推進・充実に努める。
- ④学校教育活動全体を通して、「時を守り 場を清め 礼を正す」を大切にし、集団生活における望ましいマナーと習慣を育成する。
- ⑤キャリア教育の視点を踏まえて、学校、家庭、社会（企業）との連携を円滑にし、夢や目標を持たせる取組を行い、生徒に「学ぶ意義」を実感させ、主体性の育成を図る。
 - ア、キャリアパスポートの活用（12年間の学びの履歴）
 - イ、自己実現に必要な能力の育成に努め、生徒が主体的に進路を選択・決定する指導を充実する。
 - ウ、先輩や社会人の生き方に学び、自己の向上を図る機会を積極的に企画し実践する。
- ⑥教育相談旬間の充実を図るとともに家庭・地域・関係機関と連動し、虐待等の未然防止、いじめ・不登校を生まない生徒指導体制（機能）の充実を図る。
- ⑦全体共有スペース及び各学年フロアにおける掲示教育（進路掲示等）の充実を図る。
- ⑧人間関係づくりの力を育む取組の充実を図る。
 - ア、生徒会活動（執行部・専門委員会・各学年学級）、部活動 ※自立・自治（考動）
 - イ、職場体験活動、地域行事への参加、ボランティア活動、自然体験活動等、豊かな体験活動と多様な人材との交流活動
 - ウ、異文化体験などを通して国際理解教育等の充実、帰国子女・外国人生徒への支援
- ⑨生徒一人一人の「校内美化」に対する意識を高め、清掃活動や「花づくり」に積極的に参加する勤労意欲と態度を育成し、校内の環境美化・緑化に努める。

(2) 「確かな学力」（「自己肯定感」・「自己有用感」）の育成

① 「自立した学習者」の育成に向けた授業改善

- ア、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に努める。
- イ、「自学自習力」を育む取組の充実を図る。
- ウ、「学習の基盤としてのICT」による生徒の主体性を育む取組の充実に努める。
- エ、「指導と評価の一体化」の実現
- オ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導体制や指導方法の確立（授業改善）
 - ・生徒指導の機能【自己存在感・共感的人間関係・自己決定の機会】を生かし、生徒一人一人に達成感と満足感がある「楽しくわかる・できる授業」を実現する。
 - ・教師一人一人による教材理解と生徒の実態に応じた効果的な指導方法について日常的に研修するとともに、教科会においても教科主任を中心に指導方法の改善に努めていく。
 - 「学習活動の工夫とは」・・・予想や見通しを立てたり、実際確かめたり、比較・分類したり、考察したりする問題解決学習や、表現したり、活動を振り返ったりする学習活動
 - ・全教師による真志喜中スタンダード【50分ものさし・タイマー・ホワイトボードの活用】による授業実施
 - 50分の限られた時間を①「学ぶ」と「習う」の見通しをもたせる。②タイマーにより時間管理（間延び防止）③対話と思考の可視化
 - ・一人一授業を教科部会及び学校全体で行い、日常的に授業づくり等について広く意見交換を行うなど、より効果的な指導や情報交換等が行える体制を構築する。
 - ・日常的に校長・副校長及び教頭・授業改善リーダー等が授業を観察し、助言を行う。（OJT）
 - ・教師が、お互いの授業を積極的に公開し助言しあう等、授業の工夫・改善に努める。

②校内研修の充実

ア、教科領域の壁を越えたこれからの授業の創造（不易と流行のバランス）

○教育DXの段階的な導入 ○教育指導技術の見直し

イ、学習支援ニーズの高い生徒に対する指導・支援を目的に、「In-Child Recordを活用したインクルーシブの理論研修等」及び組織的な支援（ケース会議）を行うとともに研究授業の充実に努める。

③学力向上推進対策

ア、『自立した学習者』育成プロジェクト」の方策推進（「個別最適な学び」と「協働的な学び」一体的な充実）※教師の姿だけでなく、子供の姿に着目した授業改善を目指す。

イ、全国学力学習状況調査・県到達度調査・標準学力検査等の調査結果の分析・考察に基づいて課題解決のための達成目標を設定し、具体的な取り組みで授業改善の充実に繋げる。

ウ、PDシート（Plan - Do - See）を活用し、自律的な学習計画等の力を育成する。

エ、学習規律を確立し、「授業と連動した家庭学習の質の向上」に努めるとともに、家庭と連携を図りながら、望ましい学習習慣の定着を図る。

オ、レディネスを揃える為、補習等一人一人の力を伸ばす個に応じた指導の実現を図る。

カ、「幼小中共通実践項目」の継続的指導の充実に努める。

キ、英検、数検、漢検等の各種検定試験を奨励する。

(3)「健やかな心と体」を育む教育の充実

①日常的な運動を通じた体力づくりの工夫・充実に努める。

→保健体育の授業や運動部活動、体力づくり（地区陸上競技大会・駅伝大会前）等の工夫・充実に努める。

②学校・家庭・地域社会と連携した学校保健の充実

ア、生徒の健康課題を解決するために、保健主事を中核として、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者及び専門機関と十分な連携のもと、学校保健委員会を開催し、組織的・計画的に取り組む。

イ、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育及び性に関する指導については、特設授業や関連教科等における指導の工夫・改善を図る。

ウ、心身の健康に関心を持ち課題解決できる生徒を育成するために、保健室機能及び保健室経営を充実させるとともに、学校教育活動全体を通じた健康教育の工夫・改善を図る。

→保健教育・保健管理の充実（養護教諭による関係機関と連携したコーディネート）

③部活動等の充実

ア、「心技体」の調和のとれた部活動生徒の育成を目指すとともに、競技力向上と満足感・充実感を味わわせることができる部活動を推進する。

イ、部顧問会・部長会を定期的に行い、共通理解に基づく部活動の推進を行う。

ウ、部活動加入率を高める。（生徒にとって魅力ある部活動～自己肯定感・達成感・人間関係）

エ、休業日を原則水曜日と土曜日・日曜日の内1日を設定する。

オ、保護者・地域の人材（外部指導者）を活用し、部活動の活性化を図る。

カ、地区陸上・駅伝大会については、年間取組計画による、組織的・継続的指導の構築を図る。

④健康な体づくりへの関心を高める指導

ア、学校給食、食に関する指導（望ましい食習慣の形成）

イ、健康観察・相談（健康診断・歯科検査）、生活実態等を踏まえた発達段階に応じた指導

⑤安全教育の充実

ア、本校独自の危機管理マニュアルの定期的見直し（更新）とマニュアルの効果的活用についての全職員への周知徹底

イ、関係機関との緊密な連携に基づく安全指導（避難訓練・交通事故防止等）及び安全管理（人的・物的）の充実・徹底

ウ、地域の実態を踏まえた学校安全計画に基づく日常的安全指導の実施

※遊泳禁止エリアでの遊泳禁止指導

エ、地域ぐるみの学校安全取り組みの充実

(4) 特別支援教育の充実

① 特別支援教育を行うための体制の整備及び必要な取組

ア、校務運営組織に就学支援委員会等の特別支援教育に関する校内委員会を設置する。

イ、特別支援教育コーディネーターを中心に、校内委員会等の機能化を図り、通常の学級に在籍する障がいのある生徒の支援体制の充実に努める。

ウ、校内研修等を通して特別な支援を必要とする生徒への具体的な指導方法、指導上の留意点等について理解を深め、専門性の向上に努める。

エ、特別支援学級の弾力的運用として通常の学級に在籍する生徒が、特別支援学級で支援が必要な場合は、校内委員会や保護者との相談等をもって対応できるよう校内の条件整備に努める。

オ、特別支援教育支援員等の活用については、特別支援教育コーディネーターを中心に担任や学年職員などと連携を取り合い、生徒への支援が円滑に行われるようにする。

カ、生徒個々の発達の段階（障がいの状態や特性など）を的確に把握し、授業や学校生活での目標、具体的な学習内容・方法など、きめ細かな指導が行えるよう「個別の指導計画」を作成する。また、関係者（家庭、教育、医療、福祉等）による連携した教育的支援を行うために「個別の教育支援計画」を作成する。

※「個別の教育支援計画」を作成する際は、宜野湾市の個人情報保護条例等に基づいて、適切な手続きを行うこと。

② 特別支援学級の教育課程の充実に努める

ア、生徒の障がいの状態、特性等や学級の実態に即した教育課程を編成する。

イ、教育課程編成に当たっては、中学校学習指導要領を踏まえ、必要に応じて、特別支援学校の中学校部学校学習指導要領を参考にする。

③ 校内支援体制の充実に努める

ア、校長、副校長、教頭、主幹教諭、特別支援学級担任、学年主任、養護教諭等で組織する特別支援教育校内委員会の機能化に努める。

イ、特別支援教育校内委員会は、就学支援や教育相談等を継続的に行うとともに、宜野湾市教育支援委員会等と連携を取り合い、適切な対応に努める。

ウ、障がいのある児童生徒及び保護者を対象に特別支援教育を理解してもらうため、学校説明会や体験入学（学校・学級参観、教育活動への参加、就学相談等）を恒常的に実施できるような体制づくりを図り、就学支援の充実に努める。

(5) 生徒指導・教育相談の充実

① 生徒個々への対応の充実に努める

ア、生徒間、生徒と教師間の共感的人間関係を築くとともに、生徒理解に努める。

イ、自他を認め、思いやり、協働し、自主性・自律性を含む自己指導能力の育成に努める。

ウ、対話と活動を重視し、ぶれず、見捨てず、関わり続けることを念頭に、将来を見据えた粘り強い段階的指導・支援を行う。

② 学校全体としての取り組みの充実に努める

ア、「チームとしての学校」の視点から生徒指導部会等、校内組織を基盤とした教職員の連携の充実に努める。

→教職員の生徒指導観が統一され、日常的に報告・連絡・相談・確認の情報連携・行動連携・役割連携に努める。

イ、主体的・対話的な学びの基礎となる支持的風土のある学級経営の充実に努める。

ウ、生徒指導の三つのポイントを生かした授業の充実に努める。

※【自己存在感・共感的な人間関係・自己決定の場や機会】

エ、学びに向かう集団づくりを進めるために、学級活動や生徒会活動等の充実に努める。

オ、定期的、かつ状況に応じたアンケート調査や教育相談の実施等、いじめの未然防止や早期発見、早期解決に向けた取組の充実に努める。 ※SNS等による不適切表現未然防止

→（「学校いじめ防止基本方針」の実施及び評価と点検後の見直し）

カ、関係機関と連携し、非行防止教室やネット犯罪防止教室等を開催し、事件・事故等の未然防止に向けた取組の充実に努める。

キ、各相談員等の効果的活用・連携及び支援チームの結成、ケース会議の開催等、生徒の状況に応じた対応の充実に努める。

③家庭・地域社会、関係機関・団体との連携の強化を図る

ア、保護者との信頼関係を築き、共通した課題意識を基盤とした指導・支援の充実に努める。

イ、中学校区生徒指導連絡会等を機能化し、家庭や地域、関係機関・団体等との情報連携、行動連携を充実させ、生徒指導上の諸問題への対応の充実に努める。

ウ、市教育委員会及び社会教育関係団体等と連携し、生徒のよさを伸ばし、心の拠り所となるような「居場所づくり、活躍の場づくり」のための指導・支援体制の確立に努める。

(6) 地域や家庭、小学校との連携(地域協働学校の充実)

①学校運営協議会を定期的に開催し、地域協働学校(コミュニティースクール)を推進する。

ア、地域行事・活動への積極的参加(地域字生徒会) イ、キャリア人材バンク作成

ウ、職業人講話・職場体験 エ、学習支援ボランティア オ、その他

②真志喜中学校区小中校長校務研究会、副校長・教頭連絡協議会を定期に実施し、校区内の共通実践事項に取り組む。

③家庭と連携したスマホ等使用時のマナーやルールの指導及び家庭学習の充実に努める。

④部活動の活性化と適正化(ノー部活動デーの実施)を図る。

⑤学校便り、SNS等による情報発信に努める。

(7) 教職員の指導力の向上

①沖縄県教育委員会『「自立した学習者」育成プロジェクト』の方策を推進する。

②教科部会の充実及び教材研究に充てる時間の確保を図る。

③校内研修や校内OJT等を通して「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく授業改善や指導力の向上に努める。

④小中連携教育を推進し、中学1年時の中学校へのスムーズな接続と学力向上に努める。

⑤宜野湾市教育振興基本計画を参考に学校教育を推進する。

⑥「宜野湾市いじめ防止基本方針」を参考に学校いじめ防止基本方針の見直しを図る。

⑦「宜野湾市業務改善基本方針」に基づき、学校独自の業務改善に取り組み、教材研究時間の確保に努める。

「教師の5つの意識」

- 1、どの生徒もできるようになりたいと願っているという意識
- 2、どの生徒も誰かと話したがっているという意識
- 3、あいさつ・環境美化・読書が教育活動の基礎であるという意識
- 4、報告・連絡・相談・確認が組織体制による学校運営の基盤であるという意識
- 5、学校課題のない学校はあり得ないという意識

真志喜中学校での学校生活に向けて

1 教科担任制について

小学校の場合、ほとんどの教科は担任の先生が受け持ちますが、中学校の場合、教科ごとに担任の先生が変わります。一人一人の先生とコミュニケーションを取るのが難しくなるだけでなく、すべての先生が同じ教え方でない場合もあるので、戸惑ってしまうおそれがあります。中学生になると、先生に質問しづらくなったり、気軽に相談できなくなったりするお子さんも多い傾向があるので、中学校生活の悩みや困りごとがないか家庭でよく観察して対応しましょう。

2 授業時間について

授業時間は小学校の場合は45分ですが、中学校は50分に増えます。授業数も増えるので、1日の勉強時間が長くなります。中学校に進学して間もない頃は、慣れるまで時間がかかる生徒もいるでしょう。授業中に居眠りしないように、規則正しい生活リズムの確立に向けて、最低6～8時間程度は睡眠を取るのがおすすめです。

3 授業の進捗について

小学校の場合、児童全員が理解できるようなスピードで授業が行われていますが、中学校は学習量が増えるため、授業の進捗が速くなります。先生も時間に余裕を持ちづらくなるため、授業中の反復学習を行うのも難しくなります。小学校のように「授業さえ聞いていれば理解できる」といった状況ではなくなるのです。一度わからなくなると、その後、授業についていけなくなるおそれがあるため、日頃から予習・復習を行いましょう。

4 学習の難易度について

小学校の場合、基礎的な内容が中心でしたが、中学校で扱う問題は応用問題が増えます。慣れ親しむことに重きが置かれていた英語は、文法を理解したり、覚えるべき単語数も増えたりし、算数は数学に変わり、問題も複雑化します。中学校の学習内容は小学校の延長線上にあるので、入学するまでこれまでの総復習をしておくといよいでしょう。

5 テストの難易度について

小学校のテストは單元ごとに実施されるので、範囲が狭いだけでなく、基礎的な問題が多いのが特徴です。応用問題が出題されるケースは少なく、100点を取る生徒も多いでしょう。しかし、中学生のテストは、年5回程度しか実施されないため、範囲が広がります。

例) 1学期：期末テスト 2学期：中間テスト・期末テスト・市標準学力調査

3学期：学年末テスト

さらに、期末テストでは9教科のテストが行われるので、早めに計画・対策しなければなりません。計画を立てたり、進捗を管理したりする能力も求められます。

6 成績のつけ方について

小学校の場合「よくできる・できる・もう少し」「A・B・C」などの3段階で成績がつけられますが、中学校の場合「1～5」の5段階で、テストの成績や日頃の授業態度・宿題・課題などの提出物などで評価されます。提出物に関しては、はじめのうちは保護者がこまめにチェックしてあげましょう。また、中学校の成績は内申点として高校受験の際に活用されるので、普段からコツコツと勉強に取り組む必要があります。

7 人間関係について

小学校の場合、6年間同じメンバーと過ごしてきましたが、真志喜中学校では、大山、大謝名、はごろも小学校の3小学校から生徒が集まります。新しい人間関係や部活の上下関係も生まれ、ストレスを感じるお子さんも増えます。何も知らないまま中学に入学した場合、戸惑ってしまうケースもあるので、事前に子どもと共有しておく必要があります。

8 部活動について

小学生の場合、午後3時前後に帰宅していましたが、中学生になると部活動など場合によっては午後6時を過ぎることもあります。また、土日に加えて、夏休みや冬休みといった長期休暇期間にも部活が行われる場合、勉強が疎かになってしまうケースも少なくありません。子どもがやりたい部活をさせてあげるのが一番ではあるものの、全く勉強しなくなってしまう事態は避けなければなりません。お子さんが受験や高校生になった際に苦労しないように、勉強と両立できるようにサポートしてあげましょう。

【中学校生活で大切なこと】

1 学習習慣をつける 2 心を休められる居場所をつくる 3 自分のことは自分でやる

1 学習習慣をつける

中学校になると、勉強内容やテストの難易度が上がるため、小学生のとき以上に勉強しなければなりません。そのためには、学習習慣が必須です。

日々、コツコツ勉強を続けていけば、テスト前に一から復習する必要もなくなります。まずは短い時間からで構わないので、授業中にメモしたノートを見返したり、次の日に勉強する範囲の教科書に目を通したりして予習・復習を行いましょう。

2 心を休められる居場所をつくる

中学校に入学して間もない頃は、慣れない環境でストレスがかかってしまうので、心を休められる居場所が重要になります。多くの時間を過ごす家庭がその場所であるべきです。子どものことを心配に思うのは当然ですが、中学生は自立に向けて歩み始める時期でもあります。過度に干渉することは避け、子どもの意思を尊重し寄り添う姿勢を保ちましよう。

3 自分のことは自分でやる

中学生とはいえ、常に子ども扱いせず、自分でできることは自分でさせましよう。自分で決めたことであれば、責任感も芽生え、達成に向けて頑張れるはずです。

しかし、何から何まで自分で決めて実行するのは難しいので、親は選択肢を示してあげましよう。テストの点数をアップさせたいのであれば、集中して家庭学習できる環境を整えるのもよいでしょう。

※ 各教科・領域の標準授業時数について

区 分	各教科の標準授業時数									特別の教科道徳	特別活動	総合的な学習の時間	合 計
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭科	外国語				
第1学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
第2学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
第3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

日 課 表

		普通日課			特別日課		
		始業	終業	分	始業	終業	分
登校		～8:15			～8:15		
短学活		8:15	8:20	5	8:15	8:20	5
朝会・集会等		—	—		8:25	8:40	15
1校時		8:30	9:20	50	8:50	9:40	50
2校時		9:30	10:20	50	9:50	10:40	50
3校時		10:30	11:20	50	10:50	11:40	50
4校時		11:30	12:20	50	11:50	12:40	50
給 食	準備	12:20	12:35	15	12:40	12:55	15
	会食	12:35	12:55	20	12:55	13:15	20
	片付け	12:55	13:00	5	13:15	13:20	5
清掃 ミーティング		13:00	13:15	15			
自主活動		13:15	13:30	15			
5校時		13:30	14:20	50	13:35	14:25	50
6校時		14:30	15:20	50	14:35	15:25	50
短学活	5校時	14:25	14:35	10	14:30	14:40	10
	6校時	15:25	15:35	10	15:30	15:40	10
下校時刻	5校時	14:35			14:40		
	6校時	15:35			15:40		

真志喜中学校生徒心得

～真志喜中学校の生徒になる前に～



質問1. 中学校は何時までに登校したらいいのですか？

「8:15に教室にいないければ遅刻となります。8:10の予鈴チャイムには教室に入って着席ができるようにゆとりをもって登校して下さい。」

質問2. カバンはどんなものでもいいのですか？

「いいえ。カバンに関する規定があります。しっかり確認して入学までに準備して下さい。」

【カバンに関する規定】

カバンは、リュックサックやスポーツバックなど、教科書やA4サイズが入るもの、1日の学習用具が入る大きさのものを準備して下さい。紙袋やビニール袋、ナップザックのみは不可。また、学習用具以外の持ち込みは禁止です。

質問3. 靴にも規定があると聞いたのですが、詳しく教えてください。

「靴は、体育の授業に適した運動靴を履いて登校して下さい。」

質問4. 学校に持って来てはいけないものはありますか？

「学習用具以外の持ち込みは禁止です！（例 スマホ・マンガ・お菓子 等）」

質問5. 中学校にも「がんばりノート」はありますか？

「いいえ。基本的には、各教科の授業で宿題や課題が出されます。それに加えて、自分で考えて予習復習を行う自学自習となっています。家庭学習の積み重ねは、3年後の進路選択において自分自身の自信につながります。計画的に取り組みましょう。」

質問6. 部活動には入らないといけないのですか？

「いいえ。自分の興味や特技に応じて希望者が入部します。校則を守り、勉強と部活の両立など、部活動規定を守ることが条件となります。新しいチャレンジの1つとして積極的に部活動に参加しましょう。」

質問7. 制服や身なりに関しての規定を教えてください。

「真志喜中学校には、次のような制服や身なりに関する規定があります。入学までにしっかりと身なりを整えておきましょう。」

1 制服について

- (1) 服装については、真志喜中学校の各指定店で購入した制服及び学校ジャージ、体育着以外は禁止です。但し、部活動時のみ部着を許可しています。
- (2) 制服の着用については、生徒本人の健康管理上の観点から年間を通して夏の制服と冬の制服のいずれかを生徒個人で判断して構いません。但し、儀式的行事や学校行事については、学校が指定する統一したものとなります。
- (3) 夏の制服、冬の制服の着こなしについては次の通りです。

【夏の制服】

①上着について

- ・【新】裾を外に出して着る裾オーバータイプとなる。
【旧】シャツ、ブラウスの裾はズボン又はスカートの中に入れること。
- ・シャツは第2ボタンまではきちんと留める。ブラウスは第1ボタンまで留める。
- ・【旧】ベストの着脱については、寒暖の状況に応じて個人で判断してもよい。

②スカートについて

- ・スカート丈は膝を覆う程度とする。膝頭の下に合わせることを奨励する。
(スカート丈を膝頭の下に合わせるために腰で曲げる行為は指導対象としない。)

③リボンの着用について

- ・【旧】スカートを着用する場合は、ブラウスの首元にリボンを着用する。

④ベルトについて

- ・黒、紺、茶系統のいずれかとする。

⑤肌着について

- ・色は白、黒、紺、ベージュを基調としたものを奨励する。
- ・長そで、七分丈、ハイネック等、制服のシャツからはみ出る肌着については禁止。

⑥その他

- ・スカートタイプの正装についてはベストを着用したものとする。
- ・冷房等で肌寒さを感じる場合はジャージ(上着)の着用を認める。但し、原則として集会時や儀式的行事においてはジャージの着用は認めない。

【冬の制服】

⑦上着について

- ・【新】ジャケット下に着用する防寒着については検討中の為、整い次第お伝えします。
- ・【旧】ズボン着用の場合は学ランを着用し、スカートを着用する場合はジャケットを着用するものとする。学ランを着用する場合は、第1ボタンまで留めること。
- ・【旧】学ランの下から着用するものは学ランからはみ出ないものとし、学ランを脱ぐ場合は制服シャツを着用しているものとする。
- ・長袖のブラウスを着用する場合は、袖ボタンを閉じること。

⑧スカートの着用について

- ・寒さが厳しく感じられるときは、無地の黒・紺一色のタイツ・レギンスの着用を認める。但し、足首やすねは靴下などで覆い、肌が見えないようにすること。

⑨上記以外は夏の制服の規定と同じとする。

※令和4年度より個人情報保護の観点から制服への名前の刺繍は行っていません。

制服を購入された後、タグ等へ記名を行って下さい。

※儀式的行事(入学式、始業式、終業式、修了式、卒業式等)には次のような正装で出席すること。

	ズボンタイプ		スカートタイプ	
	新(R6~)	旧(おさがり)	新(R6~)	旧(おさがり)
夏の正装				
冬の正装				

2 身なりについて

- (1) 髪染めやパーマ、変形頭髪、華美な流行の髪型は改善指導対象となります。但し、強いくせ毛や白髪が多い等で悩んでいる場合は学級担任へ相談して下さい。
- (2) 整髪料は原則禁止です。
- (3) 長い髪はまとめることを奨励します。給食・清掃時間や体育、技術家庭の実習、理科の実験、朝会、儀式的行事といった場面ではTPOに応じてまとめてもらいます。
※髪をまとめるものは黒・紺・茶系統を奨励する。形状については、華美・大きな装飾品が付属していないものとなります。
- (4) 眉のカットや眉そり、眉抜きは禁止です。眉毛や体毛に関しての事でお子さんが悩んでいる場合は学級担任へ相談して下さい。
- (5) ピアスは禁止となっています。やむを得ない事情により穴が開いている場合は担任へ相談して下さい。
- (6) 化粧については禁止しています。
- (7) アクセサリー等の装飾品の着用・校内への持ち込みは禁止しています。事情により身につけたい場合は、担任に申し出て見えないよう工夫すること。
例. 心理的要因による数珠等の着用 等
- (8) 靴下の色については特に指定はありません。但し、儀式的行事は白・黒・紺系統のものとし、無地を奨励しています。
- (9) 靴は体育の授業で安全に活動できるよう、運動に適したものを準備して下さい。
- (10) ジャージの着用については以下の通りです。
 - ① ジャージを着用する場合は、ズボンの裾を曲げてはいけません。
 - ② ジャージ(体育着)の下から着用するものはジャージ(体育着)からはみ出ないものとし、ジャージを脱ぐ場合は体育着着用となります。

- ③ジャージ登校日で暑いと感じられる場合は、体育着のみの着用でも構わない。但し、部着などでの登校は認めません。
- ④雨天時はジャージで登校し、登校後に制服に着替えてもよい。また、状況によってはジャージ着用のまかも認めます。

※教科の特性や安全面、衛生面などを考え、TPO に応じて上記の服装・身なりに関する規定とは異なる対応をとる場合もあります。

【制服価格(税込)】

	品名	制服価格
ズボン タイプ	半袖シャツ	¥3,400 (長袖シャツ)¥3,700
	ズボン	¥7,400
	ジャケット	¥14,900
スカート タイプ	半袖ブラウス	¥3,400 (長袖ブラウス)¥3,700
	スカート	¥7,400
	ジャケット	¥14,900

- ①令和4年度より個人情報保護の観点から制服へのネーム刺繍は行っておりません。制服の取り間違えを防ぐために裏地に記名を行って下さい。
- ②ジャケットは2学期に入ってから購入となります。※今回は参考までに掲載
- ③裾上げ価格が別途かかります。

【真志喜中学校への入学を控える保護者の皆さまへ】

中学校では小学校とは違い、発達段階が異なり問題行動も変わってきます。小さな問題行動がエスカレートし、気がつくとき大きな問題に発展していることもよく見られます。対応が遅れると、教師や保護者の言うことさえも聞かなくなり、警察による対応を依頼する結果になることもあります。そのようなことにならないよう、学校生活における規定やマナーをしっかりと守り、問題行動が小さいうちに指導、相談することが大切だと考えられます。

また、深夜徘徊や外泊は非行の入り口となります。保護者として絶対に認めないという毅然とした態度が最も重要です！

問題行動には予兆があります。どんな小さなことでも気軽に相談して下さい。子ども達が安心・安全に学校生活を送れるように、家庭と学校の連携を大切にしていきたいと思います。



令和7年度新入生保護者の皆様へ

宜野湾市立真志喜中学校
校長 又吉 直正
(公印省略)

制服採寸・注文のお知らせ

新春の候、令和7年度新入生保護者の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

真志喜中学校への入学に向けて制服の採寸・注文について下記の通りお知らせします。真志喜中学校では令和6年度より新制服への移行期間が始まっています。令和10年度には完全実施を予定しております。令和7年度の新入生については、現行制服(旧制服)のおさがり着用も認められます。入学に向けて早めのご対応よろしく申し上げます。

記

【注文の手順及び注意】

- 1 注文受付期間：令和7年1月20日(金)～2月10日(月)
- 2 採寸について：生徒・保護者同伴で真志喜中制服指定店(裏面参照)にて採寸。
- 3 注意事項
 - (1) 真志喜中学校制服指定店以外の店舗での購入はできません。
 - (2) 制服受け取りの際は、現金引き替えとなりますので事前に準備をお願いします。
 - (3) 児童の意識の変化や多様性を鑑み、令和4年度よりズボンタイプ・スカートタイプを選択できるようになっています。
 - (4) 何か不明な点があれば真志喜中学校(小浜)まで連絡下さい。

真志喜中学校：098-897-3651

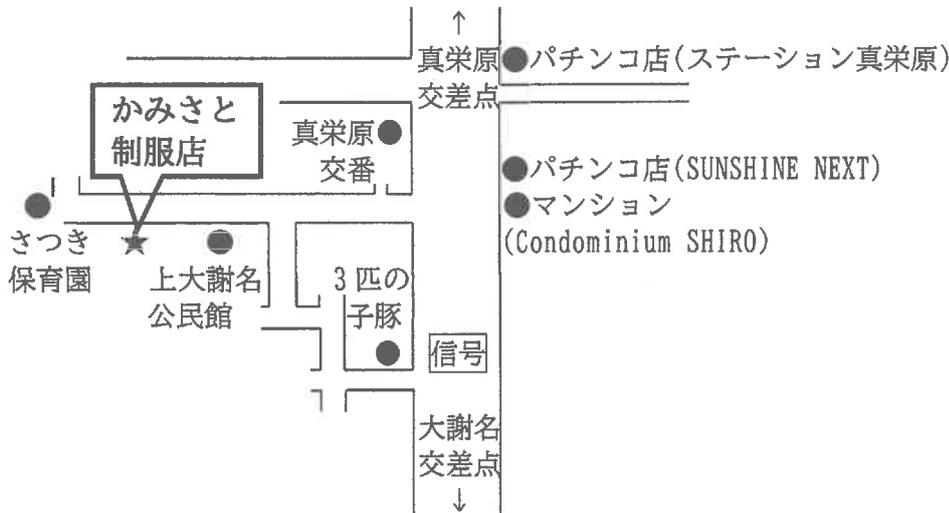
【制服価格(税込)】

	品名	制服価格
ズボン タイプ	半袖シャツ	¥3,400 (長袖シャツ)¥3,700
	ズボン	¥7,400
	ジャケット	¥14,900
スカート タイプ	半袖ブラウス	¥3,400 (長袖ブラウス)¥3,700
	スカート	¥7,400
	ジャケット	¥14,900

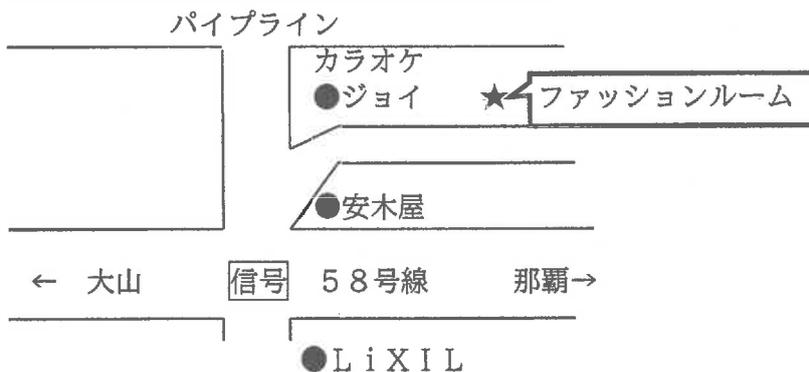
- ①令和4年度より個人情報保護の観点から制服へのネーム刺繍は行っておりません。制服の取り間違えを防ぐために裏地に記名を行って下さい。
- ②ジャケットは2学期に入ってから購入となります。※今回は参考までに掲載
- ③裾上げ価格が別途かかります。

【 真志喜中学校制服指定店 】

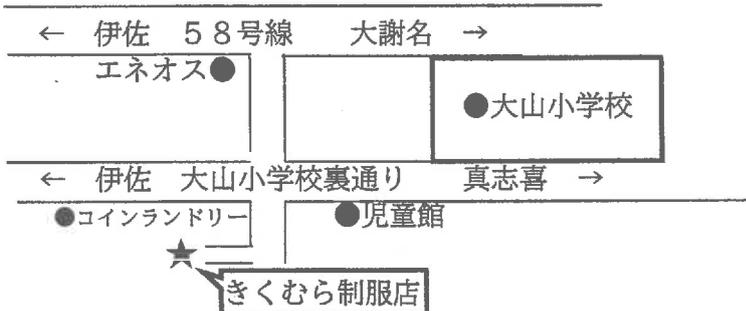
★かみさと制服店（上大謝名）⇒取り扱い：男子、女子
 TEL (098)897-0296
 住所：宜野湾市大謝名2-26-5（上大謝名公民館近く）



★ファッションルーム（真志喜）⇒取り扱い：男子、女子
 TEL (098)898-5992
 住所：宜野湾市真志喜1-12-5（カラオケハウスジョイ近く）



★きくむら制服店（大山）⇒取り扱い：男子・女子
 TEL (098)898-4762 携帯070-5411-4762
 住所：宜野湾市大山3-15-26（大山小学校裏通り、大山児童館近く）



- ① 58号線伊佐向け、エネオス（ガソリンスタンド）手前路地を左に曲がり交差点を直進し、右側2軒目。
- ② 大山小学校裏通りを伊佐向けに大山児童館を過ぎて、最初の路地を左に曲がり右手コインランドリー裏にあります。

部活動について

1、部活動の意義

○成長過程にある中学生にとって、部活動は人格の調和的発達を図るうえで重要な役割を持っている。

- (1)生徒の自主性と個性を伸ばし、青少年の健全育成に役立つ。
- (2)生徒が生き甲斐を感じ、自由に選んで出来る活動である。
- (3)余暇の善用を図り、生活にうるおいを与える。
- (4)体力、根気力、協力心を養うことが出来る。
- (5)自分の個性や能力を発見し、それを伸ばすことができる場である。
- (6)生徒相互が切磋琢磨するよい機会であり、教師・生徒の望ましい人間関係を深める場である。
- (7)物事を自主的・自発的に捉え、積極的に行動する態度や習慣及び責任感を養うことができる。
- (8)集団の決まりを守り、所属感や連帯感を身に付けさせる。

2、目的

集団活動を通して、部員間の連帯感を高め、自発的・自主的態度を養うとともに、自己の能力、個性の伸長を図ることを目的とする。この趣旨から、本校では部顧問を中心に保護者と協力し合い指導にあたることとする。

3、部活動の位置づけ

部活動は教育課程に準ずる教育活動であるが、異学年集団活動を通して、互いに協力し助け合い、豊かな性格と技能を高める場、学校教育目標を達成する場として、学校教育の一環として捉える。

4、活動してる部活動名

1	男子サッカー	10	男子卓球
2	女子サッカー	11	女子卓球
3	野球	12	バドミントン
4	男子硬式テニス	13	男子ハンドボール
5	女子硬式テニス	14	女子ハンドボール
6	男子バスケットボール	15	吹奏楽
7	女子バスケットボール	16	軽音
8	男子バレーボール	17	美術
9	女子バレーボール		

5、部活動の時間

(1)活動時間(1年間):17時45分練習終了、18時完全下校。

(部活動の練習終了とは、ダウンやミーティングも含めて終了とする)

(2)毎週水曜日はノー部活デーです。

(3)毎月第3日曜日は「家庭の日」で、原則部活動は休みとなります。

(4)定期テスト期間は、中間テストの場合、5日前。期末テストの場合は、7日前から部活動の活動を停止とする。

また、期末テスト初日と2日目が1～2週の間を取る場合は、技能教科はテスト実施日から2日前。他5教科はテスト実施日から5日前を活動停止とする。

*大会1週間前などは、学校長の許可により練習を認める場合もある。

6、その他

4月中に部活動結成会を予定しています。入学後は、部活動の練習を見学するなどしておきましょう。

7、部活動についてのQ&A

Q どのようにして参加するの？

A 入学式後、学校生活に慣れ始めたころに体験入部として活動に参加してください。部活動場所に友達と一緒に足を運んでみましょう。そのため、事前に学級担任と相談しておく、スムーズに練習に参加できるように。部員になると決心したら、顧問(もしくは担任)の先生から「入部誓約書」を受け取り、必要な手順を取った後に正式な部員となります。

Q 活動は無料ですか？

A 部活動で使用する用具や消耗品(ボールなど)は、部員から集められる部活動費で購入しているため、一人「5000円(年額)」を部活動費として集めています。個人で使用する道具は各部活動で異なります。顧問の先生と相談して購入してください。

Q いろいろなペナルティーがあるって聞いたけど？

A 学校生活で重大な違反や問題行動を起こした場合は、活動停止等の罰則もあります。そのため、部員は学校生活の決まりやルールを守る必要があります。

Q 入部の時期はいつ頃ですか？

A 4月中に部活動結成式を予定しています。その時に入部手続きを行ってください。

※結成式後でも部活動には入部できます。

Q 部活動を通して得られることとは？

- A 1)部活動は心と体を鍛えるだけでなく、学問と両立することで健康な体と心を育てることができる。
2)楽しいことも、厳しいことも経験することで、将来の目標や人間関係づくり等に大きく役立てることができる。
3)物事を自主的、自発的に考える力を高め、積極的に行動する態度や習慣及び、責任感を養うことができる。
4)集団行動を通して、決まりを守ることの大切さや、連帯感といった仲間意識を得られることができる。

など

8、さいごに

どんな目標を達成するためにも、努力が必要です。目標が高ければ高いほど精神的にも肉体的にも苦しい場面に出くわすことが多くなります。

部活動を通して得られる感動体験の積み重ねは、人間性を豊かにし人間的に大きく成長させてくれます。その感動体験は、時にはその人の人生観を変えてしまう程です。中学生がその過程で得られる達成感や充実感・感動は、その後の人生の糧にもなるもとだと思います。

「やればできる」という事や「努力する事の大切さ」を多くの生徒に実感してもらいたいと考えています。

***新入生の皆さん！部活生になり、充実した学校生活を送ろう！！**

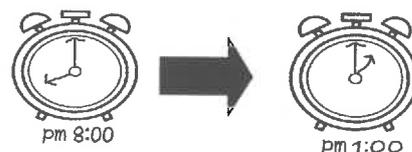
新入生の健康について

真志喜中学校
保健室

入学を控え、6年生の皆さんは期待と不安でいっぱいだと思います。「もう、中学生なんだから・・・」と本人任せにするのではなく、入学前・入学後とご家庭の方でも心配りをお願いします。

I 基本的な生活習慣について

- 朝食はきちんと摂りましょう。
* 朝ごはんを抜くと、給食まで約17時間空腹の状態になり、身体的にキツイです。
(中学校では朝練や放課後の部活動もあり、ハードなスケジュールです)
- 睡眠は充分にとりましょう。(成長ホルモンは睡眠中に分泌されます)
- 感染症予防のため、手洗いの習慣をつけましょう。(ハンカチの持参)



II おし歯、その他の疾病の治療について

- おし歯、鼻炎、中耳炎、皮膚の病気など、学校から受診を勧められた生徒は早めに治療を済ませておきましょう。
* 治療や検査、経過観察などが続く場合、その他身体的理由により配慮してほしいことがありましたら保健室までご連絡下さい。

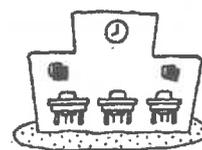
III 定期健康診断について

- 1年生に実施する検査
(身体測定、視力・聴力検査、歯科検診、内科検診、尿検査、心電図検査(1年のみ))
* 学校での検査はすべて無料です。3カ年に1回しか行わない検査もありますので、ぜひ受診させて下さい。上記の検査には問診票などの提出があります。期限を守って提出して下さい。



IV 学校感染症について

- 感染症やその疑いがある時は学校を休ませ、医師の診察を受けさせて下さい。
感染症と診断された場合は、すみやかに学校へ連絡をお願いします。
- 学校感染症は出席停止となります。(欠席扱いにはなりません)
* インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、百日咳、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎 新型コロナウイルス感染症等
- 自宅で安静にし、医師の指示を守り、完治してから登校させましょう。
* 学校指定の「回復届」(保護者記入)の提出をお願いします。用紙は保健室にあります。



V 日本スポーツ振興センター災害給付制度について

- 学校管理下（登校から下校まで）における生徒の傷病に対して、給付金が支給される制度です。
- 傷病の療養に要した費用の合計金額が5,000円以上（窓口で支払った金額1,500円以上）となる場合に限り給付の対象となります。
- 給付金を受け取るには、「給付金請求手続き」が必要です。手続きに必要な書類は保健室にありますので申し出て下さい。

VI 心の健康について

- 思春期は、人生の中で最も急激に身体が発達する時期であると同時に、心と体のアンバランスが生じる時期でもあります。感情の起伏が激しく、反抗的になる人もいます。できるだけお子さんとの時間を大切に、声かけや心配りをしながら、この時期をうまく乗り越えられるよう、支援をお願いします。

VII その他

- お子さんがケガをした時や病気の場合は保護者の方に連絡して来校して頂きます。よろしくをお願いします。
- 保健調査票には、緊急時に確実に連絡のとれる方の連絡先の明記をお願いします。連絡先の変更があった場合は、すみやかにご連絡下さい。
*お子さんにも緊急連絡先を知らせておきましょう。
- 食物アレルギーについて
食物アレルギーを持っているが給食センターでの除去食を申請していない生徒は、ご家庭で毎月の献立表を確認してください。アレルギーを起こす食物が入っている場合には、お子さんとよく相談し対応をお願いします。
尚、給食センターでの除去食対応は、手続きが必要となりますので希望する方は申し出て下さい。

真志喜中学校から受検できる沖縄県立高等学校について

1. 普通科の通学区域(宜野湾市は 中頭学区 に分類される)

中頭学区の普通科 (保護者の住所により学区は決定される)

石川高等学校 前原高等学校 具志川高等学校 与勝高等学校 読谷高等学校
美里高等学校 コザ高等学校 北中城高等学校 北谷高等学校 普天間高等学校
宜野湾高等学校

2. 普通科の通学区域外を受検する場合

その高等学校の入学定員の10%以内で、入学することができる。

〈具体的例：普通科定員400名の高校の場合〉

普通科の定員(400名)の10%以内(40名以内)入学することができる。

特色選抜と一般選抜を合わせて最高40名の生徒が通学区域外で入学できます。

39名以下になることもあります。

特色選抜で普通科の募集定員(通学区域外)

定員400名の(20%以内+特別枠5%以内)の100名以内を特色選抜で入学できる。

100名の内、10名以内が通学区域外から入学できる人数です。

10名以内とは、最高10名なので、合格者がいないこともあります。

一般選抜

通学区域外から特色選抜で10名内定したとすると、

40名(定員数)－10名(特色選抜合格内定者数)＝30名(一般入試で合格見込みのある合格者数)

一般選抜では30人以内の生徒が入学できます。

※特色選抜・一般選抜は合格発表が同一日のため、慎重な検討が必要です。

3. 普通科以外の学科(商業・工業・農業など)を受検する場合

県全域

○農業に関する学科の例 ・造園科 ・熱帯農業科 ・食品科学科 ・園芸科	○水産に関する学科の例 ・海洋技術科 ○福祉に関する学科の例 ・みらい福祉科 ○家庭に関する学科の例 ・生活情報科・調理科 ・服飾デザイン科
○工業に関する学科の例 ・工業化学科 ・情報技術科 ・土木科 ・電子機械科	○その他の専門学科 ・理数科 ・国際人文科 ・体育科 ・総合学科

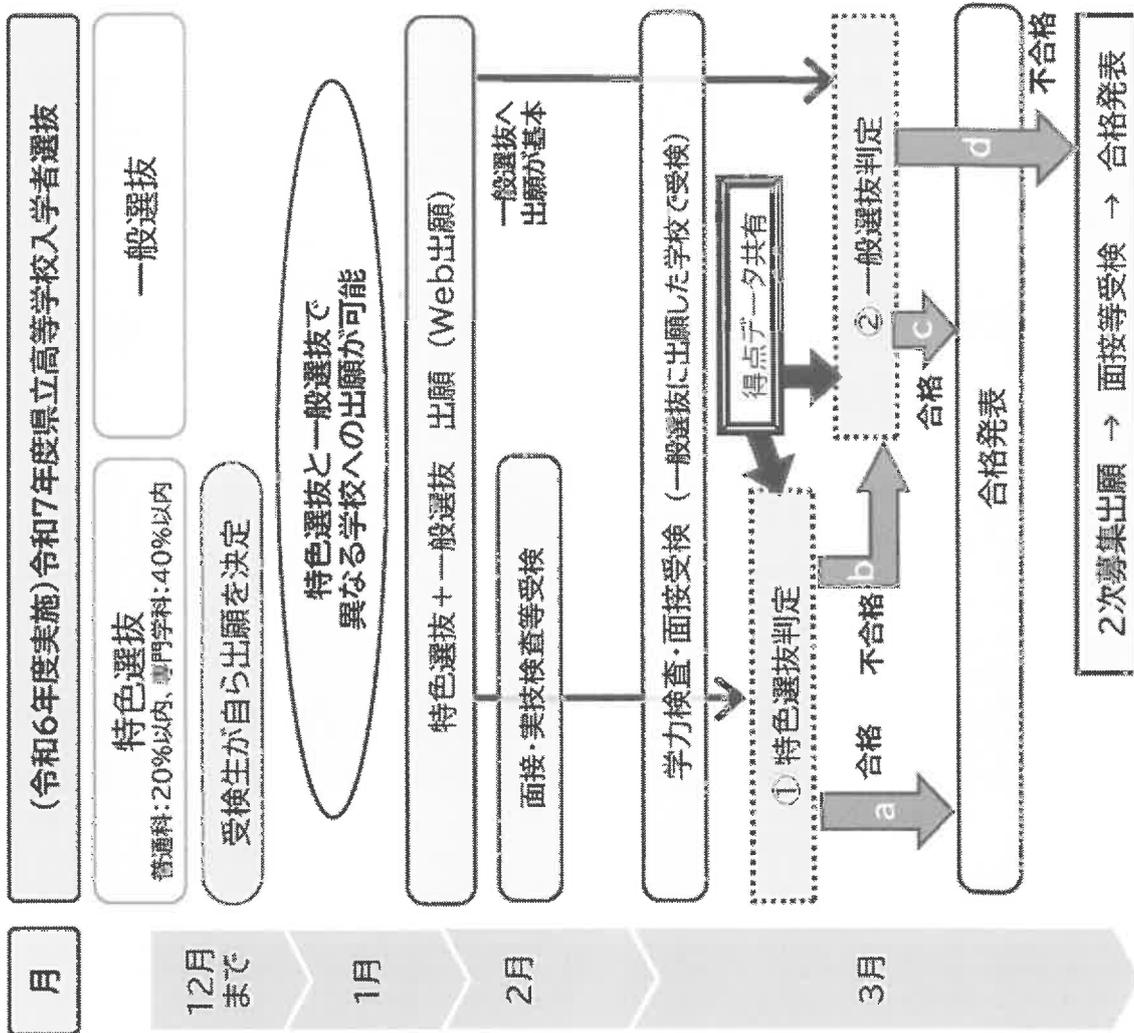
令和5年度 卒業生進学先

No	高校名	志望学科及びコース	推薦	一般	2次	小計	合計
1	普天間	普通	7	31		38	38
2	宜野湾	普通:普通	11	38		49	67
		普通:情報処理	1	13		14	
		普通:スポーツ・健康		4		4	
3	コザ	普通	1	1		2	2
4	北谷	普通		21	8	29	29
5	北中城	普通		1		1	1
6	西原	普通:文理	1	1		2	2
7	浦添	普通	1	3		4	4
8	首里	普通		1		1	2
		染織デザイン		1		1	
9	那覇国際	普通		2		2	4
		国際	1	1		2	
10	陽明	総合学		16		16	16
11	球陽	文理探究	4	1		5	5
						0	
12	開邦	学術探究		2		2	2
13	那覇西	普通		1		1	3
		国際人文		1		1	
		体育	1			1	
14	本部	普通:進学・情報		1		1	1
15	向陽	国際文		1		1	1
16	中部商業	総合ビジネス		11	5	16	24
		情報ビジネス		4	2	6	
		国際ビジネス		1		1	
		生涯スポーツ	1			1	
17	浦添商業	企業システム		12	2	14	33
		ITビジネス	1	6		7	
		国際観光	1	8	3	12	
18	首里東	普通			1	1	1
19	那覇商業	商業		1		1	2
		国際経済	1			1	
20	浦添工業	情報技術		5		5	24
		建築		1		1	
		インテリア	1	2		3	
		デザイン	3	7		10	
		調理	1	3	1	5	
21	那覇工業	服飾デザイン		2		2	6
		グラフィックアーツ		1		1	
		電気		1		1	
		機械(定時)		2		2	
22	沖縄工業	工業化学		1		1	2
		建築		1		1	
23	中部農林	造園		1		1	1
24	八重山商工	機械電気		1		1	1
25	泊	普通(定時)		1		1	1
26	陽明高等支援			2		2	2
27	はなさき支援	普通			1	1	1
28	宜野湾(通信)	普通(通信)		7		7	7
28	沖縄工業高等専門学校	情報通信システム工学	2	1		3	5
		メディア情報工学	2			2	
29	興南高等学校	総合進学	1			1	6 (14)
		特別進学		5(13)		5(13)	
30	沖縄カトリック			2		2	2
31	沖縄尚学高等学校	尚学パイオニアα		(1)		(1)	(1)
32	沖縄国際学院高等専修学校			1		1	1
33	仙台育英学園沖縄高等学校	普通(全日)		3		3	3
34	県外私立・公立		3	4		7	7
35	県内私立	通信		16		16	16
36	アメリカンスクール			6		6	6
37	就職	県内		3		3	3
38	進路未定	就職、進学とも未定		8		8	8
計			45	271	23	339	339

※県内外私立は、合格内定者数(私立は併願も含む)になります。3学年在籍数340名。過卒1人。
 ※興南高等学校特別進学コースに進学する生徒6名。()内は合格者数。沖縄尚学高等学校()内は合格者数。

参考

特色選抜について - 入試制度はどのように変わるのか -



確認事項

- ① 特色選抜は生徒が自ら出願を決定
・特色選抜は、学校推薦ではなく、生徒本人による出願となります。ただし、各学校が定めた出願要件を満たさない場合は、出願できません。
- ② Web出願システムは11月運用開始
・県立学校入学者選抜Web出願システムは11月1日から運用を開始します。そのため、出願が開始されるまでの間にアカウントの作成、志願情報の入力が可能です。
- ③ 学力検査は一般選抜出願校で受検
・学力検査を全員受検することになります。受検会場は一般選抜に出願した学校となります。
※特色選抜のみへの出願はできません。
- ④ 特色選抜で合格した者は、一般選抜では判定されない
・特色選抜で合格した者は、一般選抜では合否判定は行われません。そのため、特色選抜と一般選抜の両方に合格をするということは起こりません。

※本資料は、令和4年3月の教育委員会資料「特色選抜について」入試制度はどのように変わるのか」に確認事項を追記したものです。

特別支援について

特別支援教育とは？

特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行います。

特別支援学級とは

障害による学習上又は生活上の困難を克服するために設置される学級のことです。

【対象障害種】

知的障害者、肢体不自由者、病弱者及び身体虚弱者、弱視者、難聴者、言語障害者、自閉症者・情緒障害者

特別支援教育支援員

障害のある児童生徒に対し、食事、排泄、教室の移動補助等学校における日常生活動作の介助を行います。

合理的配慮とは？

「障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことです。

相談先



障がいによる学習上、生活上の困難についての相談先は、特別支援コーディネーターが行います。

下記について、いつでも相談を受け付けています。

- ・特別支援学級への入級について
- ・特別支援教育支援員を活用したい
- ・合理的配慮を申請したい など

令和7年度の主な行事（予定）

学期	月	行 事
1	4	<ul style="list-style-type: none"> ●就任式●始業式・入学式●生徒会入会式・部活動紹介●PTA総会 ●歯科・内科検診●身体測定(全学年)●標準学力検査(1年) ●全国学力・学習状況調査(3年) ●学級懇談会(全学年)(日曜参観日に同時開催) ●部活動結成式(全学年)(日曜参観日に同時開催) ※三者面談に代わる大事な懇談会となります。ぜひご参加下さい。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ●新入生歓迎会●心電図検査(1年)●歯科検診●聴力検査 ●生徒総会●第1回英語検定①●第1回教育相談旬間 ●地区中体連総体●聴力・視力検査
	6	<ul style="list-style-type: none"> ●平和学習会●尿検査(全学年)●期末テスト●体育祭 ●非行防止教室
	7	<ul style="list-style-type: none"> ●思春期講演会(3年)●三者面談(学期末平日午後) ●2学期終業式●リーダー研修(夏季休業中)●県中体連総体
2	8	<ul style="list-style-type: none"> ●2学期始業式●第2回教育相談旬間
	9	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回教育相談旬間●修学旅行説明会(2年)●入試説明会(3年) ●中頭地区駅伝大会●読書月間●2学期中間テスト
	10	<ul style="list-style-type: none"> ●合唱コンクール(コンベンションセンター劇場棟) ●第2回英語検定●市標準学力調査(3年)
	11	<ul style="list-style-type: none"> ●県学力到達度調査(1・2年)●地区中学校総合文化祭 ●期末テスト●中頭地区音楽発表会
	12	<ul style="list-style-type: none"> ●修学旅行(2年)●キャリアウィーク(1年)●三者面談(3年のみ) ●部活動集会●2学期終業式
3	1	<ul style="list-style-type: none"> ●3学期始業式●三者面談(全学年)●第3回英語検定 ●新入生オリエンテーション
	2	<ul style="list-style-type: none"> ●学年末テスト(1・2年)●模擬テスト(3年)
	3	<ul style="list-style-type: none"> ●県立高校入試●卒業式●修了式・離任式(給食なし)

※年間行事予定表は4月の入学式にて配布いたします。

令和7年度入学式のご案内

1. 日 時 : 令和7年4月8日(火) 午前10:00<開式>

2. 場 所 : 体育館

3. 当日の日程

集合・学級確認、整列…………… 8:45 ~ 9:00

集合完了…………… 9:00

出席点呼・リボン付け・諸説明 …… 9:00 ~ 9:50

入学式…………… 10:00 ~ 11:00

◇入学式終了後、体育館にてPTA入会式を行います。

◇新1年生(新入生)は、学級開きの後下校となります。学級開きは生徒のみの参加となります。

◇当日、給食はありません。下校は11時40分頃となります。

4. その他

(1) 集合について

① 新1年生(新入生)は、8時45分から9時までに登校してください。

※早すぎる登校は控えてください。

② 体育館横に掲示されている学級貼り出し表で自分のクラス・出席番号を確認してください。

③ 自分の学級と出席番号を確認後、速やかに体育館に入場し、所定の座席に9時までに着席してください。

④ 保護者入場は9時40分以降となります。保護者の皆様は9時55分までにご着席ください。

(2) 服装について

① 新入生は、夏の制服<正装>での参加となります。

② 儀式的行事での靴下は白・黒・紺を奨励しています。

(3) 持ち物について

① 上履きやカバンは持ってこないようにしてください。

② 水分補給用の水筒(ペットボトル不可)を準備してください。

(3) 感染拡大防止対策について

① 入学式への保護者参加は生徒一人につき2名までとします。また小さなお子様の参加は控えてくださいますよう協力お願いします。

② 当日は新入生・保護者ともに発熱・風邪症状がある場合は参加を控えてください。その際は7時45分~8時30分までに学校に電話連絡をお願いします。

(4) 保護者駐車場について

当日保護者用の駐車スペースはございません。徒歩または公共交通機関をご利用ください。また学校周辺での路上駐車はしないようお願いします。

4月からの授業で、以下のものを使用します。各自で準備をお願いします。

国語	○赤・黒ペン ○蛍光ペン (2色)
社会	○B5サイズのノート (5ミリ方眼でも可)
数学	○B5サイズのノート (大学ノート・オフィシャルノート・ロジカルノートでも可) ○定規セット (三角定規・コンパス・分度器) ※定規セットは小学校の時使っていたものでも構いません
理科	○準備するものは特にありません。
英語	○準備するものは特にありません。
美術	○デザイン (絵具) セットを使用します。 ※おさがり (卒業生) 可 (ポスターカラーを使用) ※デザイン (絵具) セットは4月6日学校で販売します。
技術	○準備するものは特にはありません。 ○授業は10月後半～3月に行われます。
家庭科	○準備するものは特にありません。 ○授業は4～10月前半に行われます。
音楽	○アルトリコーダーを3年間使用します。 ※おさがり (卒業生) 可 ※リコーダー<1900円>は入学式に販売を行います。
保健体育	○別紙「体育着注文票」にて購入してください。
その他	入学式の翌日に教科書の配布があります。記名がありますので <u>ネームペン</u> を準備してください。

令和7年度 教材の販売について

教科	教材	価格	備考
体 育	体育館シューズ	3,300円	学年指定の色（みどりのライン）
	体育シャツ	2,900円	学年指定の色（みどり） ※ネーム入り
	体育短パン	3,000円	
	ジャージ（上）	5,300円	学校指定の色（みどり）
	ジャージ（下）	2,200円	
	水着（男子）	2,200円	小学校で使用していたものでも可 色は黒または紺 ※サーフパンツは不可
	水着（女子）	半袖	
長袖		4,800円	
音 楽	アルトリコーダー	2,400円	3年間授業で使用します。 お下がりでも構いません。
美 術	デザイン（絵具）セット	2,500円	3年間授業で使用します。 お下がりでも構いません。 （ポスターカラー使用）

【体育着について】

- ・体育着の採寸・注文期限は2月2日（日）です。
- ・引き渡しは4月6日（日）12:00～16:00に本校体育館で行います。
- ※ 場所と時間帯については、別紙をご参照ください。

【リコーダー・絵具セットについて】

- ・4月6日（日）12:00～16:00に本校生徒玄関前で行います。